

株式会社 かなやま 金山パイロットファーム【熊野市金山町】

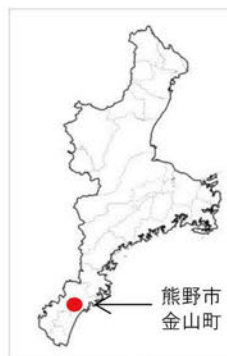
- 収益力向上に向け、店舗の改装やネット販売システムの改良など業務改善を実施！
- みかん以外の作目にも挑戦し、年間作業の平準化による雇用体制の強化にチャレンジ！

取組地域の概要

三重県南部に位置する熊野市は、熊野古道をはじめ、鬼ヶ城・獅子岩などを有する世界遺産の町である。

金山町は、熊野市の西南端に位置し、県営パイロット事業により開畑した柑橘農園がひろがっている。

みかん狩りが楽しめる観光農園や直売所のほか、宿泊・温浴施設のあるリゾート施設などがあり、多くの観光客が訪れる。



加工施設を併設した直売所「くまのparadise」

取組の背景

1960年代に地区を挙げて柑橘経営が開始され、県営パイロット事業により開墾工事と植栽が行われた。1965（昭和40）年に、金山町を中心とするみかん農家により、「農事組合法人 金山パイロット」が設立され、2007（平成19）年に株式会社へ組織変更された。

マルチ栽培の導入等により高品質なみかんを生産し、直売の販売量は増加している。一方、従業員の高齢化等により経営面積が縮小傾向にあるため、収益の向上と年間を通じた安定雇用をめざし、新規品目（ブルーベリー）の導入や加工品の開発等に取り組んでいる。

取組のポイント

ポイント1 六次産業化による収益確保をめざし、加工・直売部門を強化

- ・平成24年2月に、「六次産業化・地産地消費」に基づき国から事業計画の認定を受け、平成26年、加工施設を併設した直売所「くまのparadise」を新設した。
- ・「熊野そだちのみかんを届ける」というコンセプトに基づき地元デザイナーの協力を得て、みかん箱を一新するとともに、統一感を持ったパッケージ・広報媒体の作成を進めている。
- ・販売力を強化するため、ネット販売システムの改良や店舗の改装など、業務の改善を進めている。



オレンジ色で統一したみかん箱

ポイント2 年間を通じた安定雇用に向け、新規作物の導入により年間作業を標準化

- ・主となる温州みかんとは作業労力が競合せず、一年を通じた収穫が可能な栽培品目として、周辺地域でも栽培の少ないブルーベリー、イチゴ栽培を導入し、ジャム・ソース類およびデザート類を商品化することで、通年雇用体制の強化に取り組んでいる。

今後の展望

弛まぬ経営改善で収益力向上を図り、従業員の新規雇用や集客交流人口の増加により、地域の活性化に貢献する。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県熊野農林事務所農政室地域農政課
三重県紀州地域農業改良普及センター普及1課
電話 0597-89-6122